

嫉妬と主要 5 因子性格特性の関係に関する研究

1250507 藤本恵伍

指導教員氏名 三船恒裕

研究背景

嫉妬は、性格特性尺度に関するものやその他、様々な方法で研究が進められている。海外において、DES(妬み傾向尺度)や主要 5 因子性格特性等その他の性格特性尺度との相関を見る研究は存在したが、日本において、主要 5 因子性格特性と DES のようなものの相関を検討した分析は未だない。

研究目的

日本において嫉妬と主要 5 因子性格特性の相関を検討することが本研究の目的である。

調査・分析方法

主要 5 因子性格検査の尺度構成の質問項目、妬み傾向尺度 (Dispositional Envy Scale; DES) を子どもにもわかりやすく修正した DESC (Dispositional Envy Scale for Children)、多次元恋愛関係嫉妬尺度を用いて調査を実施した。上記尺度について被験者に回答を求めた。また、それらによって得たデータをもとに HAD を用いて因子分析、相関分析を行った。

分析結果

本研究において、主要 5 因子性格特性の下位尺度である外向性と DESC、協調性と DESC、勤勉性と DESC、情緒安定性と DESC、知性と DESC のすべてにおいて、有意な負の相関がみられた。本研究と先行研究において正負について同じ相関がみられることが確認された。

結論・考察

本研究と先行研究で類似の結果がみられたことで、嫉妬と主要 5 因子性格特性について、文化普遍的に同じ傾向がみられる可能性が示された。被験者が 204 人と十分ではないため、因子分析や相関分析の結果が不十分である可能性があるという限界はあるが、日本において、DESC と主要 5 因子性格特性の関係を検討したことにより、更に他の性格特性との関係を検討されることに期待したい。